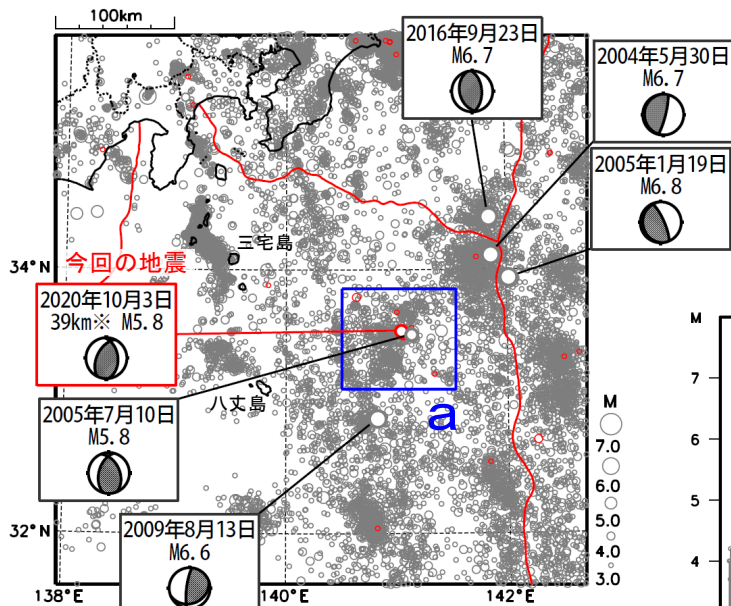


10月3日 八丈島東方沖の地震

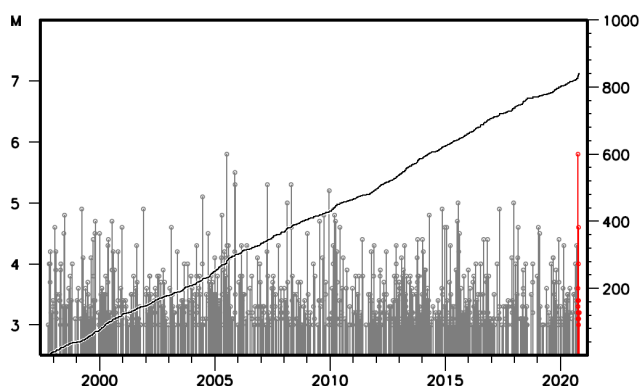
震央分布図
 (1997年10月1日～2020年10月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
 2020年10月の地震を赤く表示
 図中の発震機構はCMT解



2020年10月3日18時31分に八丈島東方沖の深さ39km (CMT解による) で $M 5.8$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

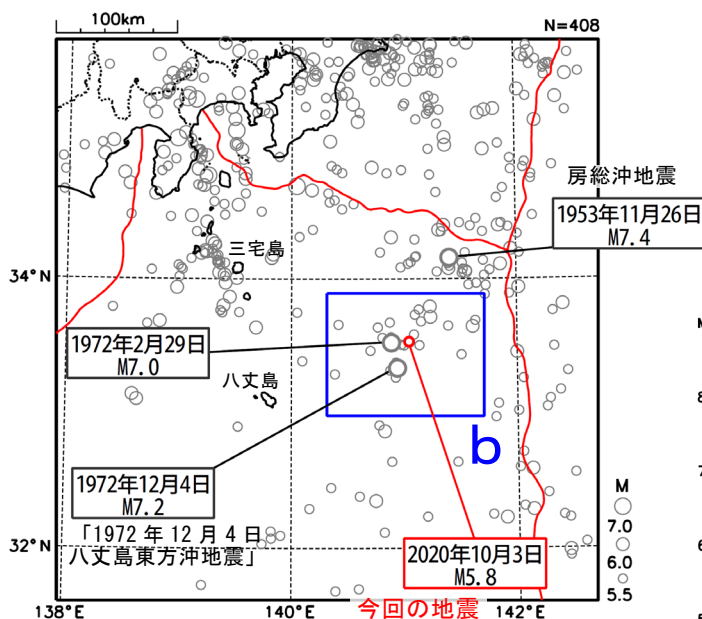
1997年10月以降の活動をみると、2005年7月10日にも今回の地震の震源付近で $M 5.8$ の地震 (最大震度3) が発生するなど、今回の地震の震央周辺 (領域 a) では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



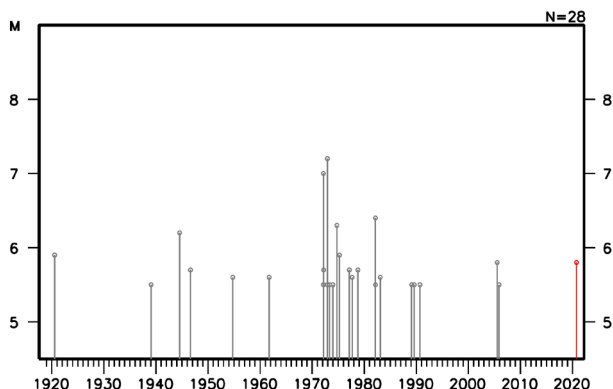
赤線は海溝軸を示す。
 ※深さはCMT解による

震央分布図
 (1919年1月1日～2020年10月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 5.5$)
 2020年10月の地震を赤く表示



1919年以降の活動をみると、今回の震央周辺 (領域 b) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。このうち、1972年2月29日の $M 7.0$ の地震 (最大震度5) 及び同年12月4日の $M 7.2$ の地震 (「1972年12月4日八丈島東方沖地震」、最大震度6) では、それぞれ、館山市布良で最大23cm、串本町袋港で最大35cmの高さの津波を観測した。また、これらの地震により、八丈島で道路・水道の損壊や落石等の被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図



赤線は海溝軸を示す。